

## /// 兵庫医科大学病院のチーム医療 ///

所属部署の垣根を越えた

# 18の医療チームが さまざまな活動をしています



チーム医療とは、高い専門性を持つ多種多様な医療スタッフが互いに連携し合って医療を提供すること。兵庫医科大学病院には、専門職種のメンバーが所属部署を越えて集まる18のチームがあります。患者さんの状況に合わせて活動するこれらのチームを、6回にわたりご紹介します(第3回)。



中心静脈カテーテルの安全性を向上

### 超音波ガイド下中心静脈カテーテル挿入推進チーム

栄養補給や化学療法、手術などの際に中心静脈カテーテルの挿入を必要とする患者さんに対して、安全性の向上を図ることを目的に活動しているチームです。医療安全管理部と各科医師で構成し、医師・研修医への手技指導やライセンスの発行、挿入支援、データ収集・解析と症例検討を行っています。

【構成メンバー】医師、看護師、薬剤師

こころと体をつなぐ

### 精神科リエゾンチーム

リエゾンとはフランス語で「連携・橋渡し」を意味します。「体が病めばこころも病み、こころが病めば体にも影響する」といわれるように、体を治療するときに精神面でのサポートが必要な場合が多くあります。リエゾンチームは精神的ケアを直接的・間接的に提供し、各部署のスタッフと協働しながら、こころと体、双方の改善を目指します。

【構成メンバー】医師、認定看護師、作業療法士、公認心理師 等



すべての職員が院内急変に対応できるように

### 救命処置(BLS・ALS)推進チーム

当院の全職員が院内急変時に即時対応ができることを目的とし、一次救命処置(BLS: Basic Life Support)および二次救命処置(ALS: Advanced Life Support)のシミュレーション講習会や指導者の養成コースを定期的で開催しています。急変はいつどこで起こるかわかりません。どの職種であっても患者さんの命を救えるよう、日々、備えています。

【構成メンバー】医師、看護師、事務員



兵庫医科大学病院では、ここで紹介する18チームの活動以外でもチーム医療をますます推進し、患者さんご家族のQOL(生活の質)を高める、安心・安全な医療を提供してまいります。